

新人看護職員研修ガイドライン～保健師編～

新人保健師については、行政機関・医療機関・産業分野等の多様な分野で就労していること等による研修体制の多様性に加え、研修内容についても保健師特有のものがあることから、新人保健師に求められる内容を中心に、新人看護職員研修ガイドライン～保健師編～を別途作成しました。

新人保健師研修の理念

- ①保健師は、人間の生命、健康、生活に深く関わる職業であり、住民（労働者）の健やかな暮らしと、生活者としての価値観及び人権を尊重することを基本とし、その基本的知識・技術及び倫理観は生涯にわたって研鑽されるべきものである。新人保健師研修においては、専門職業人として成長する上で生涯にわたり自己研鑽を積む基本姿勢を育成することが重要である。
- ②新人保健師研修は、基礎教育で学んだ知識・技術を土台に、実践活動を通して、保健師活動の基本的視点を形成するための基礎となる研修である。
- ③新人保健師を支えるためには、指導者のみならず全職員が新人保健師に関心を持ち、皆で育てるという組織文化の醸成が重要である。

新人保健師の研修内容と到達目標

【保健師活動実践能力の構造】

保健師活動の活動実践能力はそれぞれ独立したものではなく、コアとなる要素を中核に据え、保健師活動を通して実践の場で統合されるべきものです。新人保健師研修では、保健師基礎教育で学んだことを土台にし、保健師活動実践能力を積み上げていきます。

